

~Mirary soa~

マダガスカル通信
第8号
2023年3月13日

◎プロフィール

名前：光成 沙也加 (MITSUNARI Sayaka)
隊次：2021年度4次隊 (2022/4～2024/4)
職種：看護師
派遣国：マダガスカル
任地：アンチラベ (首都から南に車で4時間)



◎カメレオンに出会った日

マダガスカルと言えば、自然が豊かで動物がたくさんいることを想像するのかなと思います。実際に、道端や家の庭にカメレオンがいることはよくあるそうです。

先日、初めて道端で歩いているカメレオンを発見しました！初めて見るカメレオンに感動して「見て、ここにカメレオンいるよ！！すごい！！」と興奮気味にマダガスカル人の友人に伝えると、「ああ、ほんとだね」と苦笑い&冷静に返答されややショックを受けました。笑

そのことを近所に住む大家さんの親戚に話すと、家の庭にもよくカメレオンが出るとのこと。次に見ついたら教えてね！と言った2日後、子どもたちから名前を呼ばれて出て行くと、**色鮮やかなカメレオン**がのっそりと歩いていました！！その時は怯んで掴めませんでした、帰国するまでには子どもたちのようにカメレオンを掴んで触れるようになるのが目標です。



◎学校で手洗い指導

保健センターでの活動の合間に、たまに学校へ行っ**て手洗い指導**をさせてもらっています。初めのうちは保健ボランティアさんをお願いして付いてきてもらい紙芝居を読んでもらっていましたが、最近は一人で突撃訪問し、先生と日程交渉をしています。

当日先生たちに紙芝居を読んでもらうようお願いすると、さすが先生！感情を込めて質問を入れながら読んでくれるので、子どもたちの笑い声もあり自然と物語に引き込まれています。石鹸がない時は**灰**を使って手洗いできるよ！ということには、目を丸くして驚く子もいます。手洗いのタイミングは**食事の前、トイレの後、遊んだ後**など、知っていてもなかなか習慣に繋がっていないので、これを機に子どもたちにも先生たちにも手洗いの意識を持ってもらえたらなあと思っています。



◎首都で語学フォローアップ研修

とても有意義な1週間だったため、長文で失礼します、、！！

マダガスカルの**公用語**はフランス語とマダガスカル語のため、日本の訓練所での**学習言語はフランス語**でした。ですが実際の現地では、**マダガスカル語が生活言語**です。そのため、マダガスカルに赴任して約1か月間、**マダガスカル語の集中語学研修**が始まります。先生はマダガスカル人2人で、マダガスカル語、フランス語、英語と少しの日本語が話せる方々のため、当初はフランス語の理解が必須で、説明の理解や意思の伝達に苦戦していました。

しかし今回は、約10か月間任地でマダガスカル人と生活しており、授業中の説明も先生との会話も理解に苦しむことが少なく、成長を実感することができました。何より先生方の教え方が上手く、**自分たちに合わせた言葉選び**をしていただいていたことがよかったのかなと思います。

授業は文法クラス、実践クラスに分かれて受けました。**文法クラス**では日常生活で使われる文法表現を中心とした授業でした。普段マダガスカル人が使っている**スラング**や**言い回し**も一緒に教えてもらえたので、会話で現地の人との距離が縮まる気がしてワクワクしています！**実践クラス**では、活動で使う資料や内容でシミュレーション講義をしました。単語や表現を訂正してもらい、任地での活動にすぐに活かせる内容で勉強になりました！！

ちなみに、毎朝日替わりの美味しい朝食をいつも楽しみにしながら語学研修も頑張れました！！笑



布ナプキンについての説明



経口補水液について説明中



菜っ葉のお粥とミートボール



小さいカメから大きいカメまで！



巨大ワニもたくさんいました！

◎ゲストハウスの管理人ご家族とワニ園へ！

授業のない日に、いつもお世話になっているゲストハウスの管理人ご家族と**ワニ園**へ行ってきました！マダガスカル赴任当初の語学研修からお世話になっているゲストハウスの管理人ご家族で、隊員をいつも温かく迎えてくれています。

ワニ園というとワニがたくさんいるイメージでしたが、ワニ以外の**カメレオン**や**カメ**、**ヘビ**、**鳥**などの多種類の動物が飼育されていました。子どもたちは初めてのワニ園に興奮していて、いろいろな動物を近くで見れて楽しそうでした！

ここの名物**ワニ肉**を食べるのを楽しみに行きましたが、その日はワニ肉がなく結局食べることができず残念でした。ワニ肉、いつかリベンジしてみたいです。